永　福

令和５年１１月３０日
杉並区立永福小学校

考えを深める子供の育成

研究主任

【今年度の校内研究について】

永福小学校の子供たちは、日々の学校生活の中で行われる学習や体験を通して成長しています。その成長を支えていく上で、教育のあり方や授業の方法について教員も学び、常に成長していくことが求められています。教員が学ぶ機会の１つが、校内研究です。

校内研究とは、それぞれの学校が子供たちの実態や教員の思いなどからテーマを設定し、全員で協力しながら指導力の向上を目指していくものです。今年度のテーマは、**「考えを深める子どもの育成～自分や他者との対話を通して～」**です。昨年度は同テーマで、生活科、社会科、図画工作科の授業を通して研究を行いました。今年度は道徳科の授業を通して、このテーマに向かって研究をしています。

道徳科は、一人一人が自分の心を見つめ、よりよい生き方について考える教科です。その考えを広げたり深めたりするためには、多様な考えや価値観に触れながら考えることが大切です。昨年度の研究を通して子供たちが高めた対話の力を生かしながら、より深く考える子供たちの育成を目指しています。

【これまでの研究の様子】

今年度は、各学年で１回ずつ、計６回の研究授業を計画し、授業研究を行っています。授業を行う先生だけでなく、専科やえいふく教室の先生を含めたチーム（低・中・高学年）で綿密な指導計画を作ります。対話を効果的に生かす道徳の授業を、教員みんなで作り上げていくのも研究の活動の１つです。

これまで４つの学年の研究授業が行われましたが、それぞれの学年で対話を生かした授業が展開されました。６年生の授業では、子供たちがグループになり、「自由と自分勝手の違い」について、活発に話し合う姿が見られました。４年生の授業では、「自分の良さを生かすこと。」について、立ち歩きながら互いに声をかけ合い、考えを盛んに交流していました。２年生の授業では、「友達と助け合うこと。」について、一人一人が自信をもって自分の意見を述べたり、友達同士で自分の意見を伝え合ったりしていました。１年生の授業では、「良いこと、悪い事を区別する。」について、多くの子が自分の意見をしっかり発言することで、複数の考え方を交流することができました。昨年度行われた研究の成果が、子供たちの積極的な姿勢として現れています。

毎回研究授業が行われた後は、教員みんなで授業の成果や課題を考え、議論する協議会とともに、講師の先生からのご指導をいただきます。これまでのご指導で、子供たちが考えたくなる、話し合いたくなる道徳科の授業作りについて多くの指導をいただきました。例を挙げると、「教材文の提示の仕方を工夫すること。」や、「教師からの問いかけを、一語一句までこだわり、考えること。」などです。研究を重ねていく中で、その学びを普段の授業に生かしながら、教員も子供とともに成長しています。

【研究のこれから】

今年度はあと２回研究授業が行われます。全ての研究授業が終わった後は、今年度全体を振り返り、成果と課題をまとめ、次年度の研究へと生かしていきます。研究は道徳科で行っていますが、対話の活動や、自分の意見をもつためにじっくりと考える経験は、他の教科にも生きてきます。校内研究を通して、様々な場面で子供たちが考えを深めることができるよう、今後も学びを充実させていきます。

３学期の２月 17 日（土）の学校公開は、道徳授業地区公開講座が予定されており、各学級で道徳の授業が行われます。ぜひご来校いただき、お子様と一緒に考えながら道徳の授業を参観していただけたらと思います。

12月の生活目標『健康に気をつけて体をきたえよう』

だんだんと寒く感じる日が増えてきました。寒いと家にこもりがちになりますが、天気の良い日は外で体を動かしましょう。日中に体を動かすことによって、生活リズムは整ってきます。また、ストレス発散や視力低下の抑制、肥満予防など良い効果がたくさんあります。永福マラソンにむけての練習はこの時期にぴったりです。手洗いや換気にも気を配って、２学期最後の月も元気に過ごしましょう。